



専用機器を使って測量する児童ら(体育館で)

測量の大切さ、知って

浅井小で6年生が機器使って体験

浅井小学校で15日、「測量」について知識を深める体験会があり、6年生45人がさまざまな方法でモノの長さを測った。

県測量設計技術協会(田中伸明会長)は3日の「測量の日」に合わせ、県

内の小学校で測量体験学習会を開催。今年で8回目となり、長浜では初めて。

この日は会員30人がアトバイザーとなり、角度と距離を測る機器「トータルステーション」でクラスメートの身長を測ったり、自分の歩幅で、投げたドッジボールの距離を算出する方法などを教えた。

測量を体験した本田みゆきさんは「身長は以前測った数値とピッタリ。定規やものさしを使わ

ず、測れるのは凄い」と話していた。

測量設計業界では会員の減少や高齢化が進んでおり、田中会長は「児童たちに測量の大切さ、地図の素晴らしさを知ってもらい、興味を持ってこの世界に入ってもらえれば」と話っていた。